

令和2年度 つくしんぼ教室・児童発達支援評価

職員自己評価

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか。	○			設置基準上は問題ありませんが、ホームルームで活動する際には狭いと感じることもあります。特に今年は感染症があったので、距離の取り方が難しい場面もありました。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			更に手厚い支援を行うために、パート職員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		○		2階への移動手段が階段しかないため、完全なバリアフリーではありませんが、スタッフが工夫してバリアを無くすように努めています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			お子さんの支援については、担当児の支援計画の評価を毎月行うことが出来ました。また、月に1度はミーティングを行い、グループ全体の目標と振り返りを定期的を実施しました。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して、事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			昨年、ご要望のあったペアレントトレーニングの実施や、緊急時に速やかに情報共有を図るための一斉メールの整備、支援計画の内容の検討等を行いました。親の会(父母会)については、検討を行っていきます。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。		○		今年度は、11月に自己評価及び保護者向け評価を実施しました。その結果を受けて、スタッフ間で対応を検討し、3月中に公開する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	法人のオンブズマン制度がありますが、十分に活用することが出来ていません。活用については、今後検討していきます。また、第三者評価の受審についても、検討します。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			今年度は、感染症の影響を受けて中止になった研修も多くありましたが、オンラインなどで参加出来る研修に参加する機会を確保するように努めました。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			

適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		現在は、今後に向けて、より統一した評価が出来るようにするため、新しいアセスメントツールの作成を行っています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子さんやご家族の状況やニーズに合わせて、項目を選択し、支援内容を検討しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の評価を毎月行い、支援計画に沿った支援が行われていたかどうか、また計画の内容が適当であるかどうかということを考え直すことが出来ました。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		グループのねらいを決めてスタッフに周知して、スタッフがそれぞれに活動プログラムを提案してもらい、活動に幅を持たせることが出来ました。
	⑭	活動プログラムが固定しないように工夫しているか。	○		感染症の影響もあり、活動内容は多少制限されましたが、対策をしっかりとった上で、様々な活動を取り入れるようにしました。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか。	○		
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをして、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		必要があれば、スタッフやお子さんの動きをシミュレーションして確認し、スムーズに支援に当たれるようにしています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		毎日支援の振り返りと共有を図っています。気付いた点や課題だけでなく、お子さんの成長を報告して喜び合うという視点も大切にしています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動記録には、支援の内容や状況について必要な情報が入ってくるように、支援計画を見ながら記載するようにしました。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		毎月計画の達成度について振り返りを行い、具体的な支援の見直しを行っています。そのまとめとして、6か月に一度モニタリングを行い、支援計画の見直しを判断しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が、モニタリングの対応をしたり、サービス担当者会議に出席しています。
㉑	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。		○	保育所などの関係機関とは必要に応じて連携することが出来ました。また、今年度は子ども家庭支援センターとの連携も行いました。	

関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。			○	現在は、医療的ケアが必要な子どもの利用がないため、行っていません。
	②③	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。			○	現在は、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用はないため、実施していません。
	②④	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			併用している幼稚園に出向いて情報共有を行うことで、幼稚園の担任と相互理解を持つことが出来ました。その上で、スマイルプランを作成したり、学校の教員との引継ぎを行うことで、より有効な情報を引き継げると思います。
	②⑤	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			小学校や特別支援学校への訪問、引き継ぎで情報共有していますが、実際に移行した後にも擦り合わせを行うことで、相互理解を深めることに繋がるのではないかと考えています。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			市内の児童発達支援センターとは、こまめに電話で連絡を取り合い、連携を図っています。
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。			○	現在は機会を設けることが出来ていません。 今後は、利用者の皆様のご意見やご要望をお伺いしながら、実施の有無や方法を検討していきたいと思っています。
	②⑧	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			市川市の自立支援協議会に、こども部会の幹事として参加しています。こども部会では、教育、福祉、保健、行政等の様々な分野の担当者が出席し、障害児支援や子ども子育て支援の現状把握や課題の検討等を行っています。
	②⑨	日頃から子どもの状況を家族と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について、共通理解を持っているか。	○			連絡帳を通して、日々のお子さんの様子について、お知らせしています。出来るだけご家族に分かりやすく、発達の状況や課題についてお話をするようにしていますが、共通理解を持つために、伝え方や内容の工夫が必要だと思っています。
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る視点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	○			今年度は、ペアレントトレーニングを実施した。コロナウィルス感染症の影響もあり、グループワークやご家族同士のコミュニケーションの機会は持てませんでしたが、参加者からはご好評をいただきました。

保護者への説明責任等	③①	運営規定、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明させていただいています。利用者負担については、変更になった際は、改めて説明させていただきます。
	③②	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			個別に面談の機会を設け、計画の内容を説明させていただいています。ご質問やご意見を伺った上で、計画書の内容に、同意をいただくようにしています。
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			連絡帳でいただいたご相談には、出来るだけ丁寧にお返事させていただいています。また、お悩みやご相談の内容によっては、電話、面談、家庭訪問等を行い、適切な対応に努めました。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	父母の会の活動はありませんが、保護者会についても、今年度は感染症の影響で開催を見送ったり、報告のみの会にさせていただいたこともあり、連携の支援は出来ませんでした。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情や相談の対応体制については、契約時にご説明させていただいています。お受けした相談や申し入れについては、速やかに対応を検討し、お返事をさせていただきます。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月、教室の機関紙を作成し、活動の内容や行事の予定、連絡事項等をお伝えするようにしました。写真を多く入れることにより、お子さんにも内容が伝わりやすくしています。
	③⑦	個人情報の取り扱いに十分注意をしているか。	○			個人情報は、職員向けの規定やマニュアルを整備し、取り扱いには十分注意しています。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			口頭での伝達だけでなく、文字や写真、イラスト、図等を活用して、分かり易くお伝えする工夫をしています。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	今年度は、感染症の影響により、広く多くの方に来所や利用していただくという機会を制限させていただきました。行事の時にボランティアさんの募集も、控えさせていただきました。
④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			○	マニュアルについては、随時見直しを行っていますが、職員やご家族に十分な周知は出来ていません。感染症対策については、発生を想定した訓練を行っていますが、その他のマニュアルについては、実施していません。	

非常時の対応	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。		○		防災計画に則って、センター出火想定での避難訓練を行いました。送迎時や地震等の様々な状況を想定した訓練については、未実施なため、検討していきます。
	④②	事前に、予防接種や、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			契約時に、ご家族から聞き取りを行い、調査表に記載しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		アレルギーのあるお子さんについては、主に給食の提供について、ご家族とよく話し合い、除去の程度や症状が出た時の対応を確認しています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	○			支援終了後のミーティングで、ヒヤリハットの報告を行っています。その事例を分析した上で、事例集としてまとめ、月に一度は事故や怪我の防止のための対策について検討しています。
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	○			虐待防止、権利擁護については、月に1度職員全員で研修や話し合いを行っています。また、外部研修に参加し、伝達講習を行いました。今年度は、オンラインでの研修に参加しています。
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定して、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			契約時に、「身体拘束について」説明をさせていただいています。現在、身体拘束の対応が必要なお子さんがいないため、児童発達支援計画への記載はありません。